

修理完成記念特別展

平成30年

7月14日〔土〕～8月26日〔日〕

糸の みほとけ

— 国宝 綴織當麻曼荼羅と繡仏 —

Special Exhibition
Commemorating the Completion of Conservation Work

Threads of Devotion

National Treasure:
The Taima Mandala Tapestry and
Embroidered Buddhist Imagery

休館日：毎週月曜日 ※ただし7月16日・8月13日は開館
開館時間：午前9時30分～午後6時（入館は開館30分前まで）
毎週金・土曜日と8月5日（日）～15日（水）は午後7時まで
（名品展は開館時間が異なります。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。）

主催：奈良国立博物館、読売テレビ、日本経済新聞社
後援：文化庁、NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、協賛：ライフアートボックス
特別協力：富麻寺、川島織物セルコン
協力：繡匠 樹田紅陽、凸版印刷、日本香堂、仏教美術協会

〒630-8213 奈良市登大路町50番地（奈良公園内）
ハローダイヤル：050-5542-8600

奈良国立博物館
Nara National Museum

観覧券
POWER OF CULTURE
beyond 2020

公開講座

「国宝綴織當麻曼荼羅 —— その図様と意義」

【日時】7月21日（土）
大西磨希子氏（佛教大学教授）

「繡仏の世界—— 刺繡釈迦如来 説法図（奈良国立博物館蔵）を中心に」

【日時】8月4日（土）
内藤栄（当館学芸部長）

「飛鳥から奈良時代における 刺繡と金糸の技法の変遷」

【日時】8月11日（土）
沢田むつ代氏（東京国立博物館客員研究員）

【時間】13時30分～15時（13時開場）
【開場】当館講堂
【定員】各194名
聴講無料

※各日12時から講堂前にて、入場整理券を配布します（先着順、お1人様につき1枚）。入場整理券の受取の際には本展の観覧券もしくはその半券、奈良博プレミアムカード等をご提示ください。
※ 入場受付は講座開始後30分で終了します。

第47回奈良国立博物館夏季講座

「素材から探る仏像のひみつ」

【開催日】8月22（水）～8月24（金）
【会場】奈良県文化会館国際ホール
応募方法や詳細は奈良国立博物館ホームページでご確認ください。

観覧料金	一般	高校・大学生	小・中学生
当日	1,500円	1,000円	500円
前売・団体	1,300円	800円	300円

※前売券の販売は、5月14日（月）から7月13日（金）まで
※団体は20名以上
※障害者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料
※この観覧料金で名品展（なら仏像館・青銅器館）もご覧になれます

チケット販売所：当館観覧券売場、近鉄主要駅、近畿日本ツーリスト、JR東海ツアーズ、PassMe!、dトラベル、日本旅行、ローソンチケット（Lコード54243）、セブン-イレブン、チケットぴあ（Pコード763-289）、イープラスなど主要プレイガイド、コンビニエンスストア
※チケットの購入時に手数料がかかる場合もあります

お得な先行ペアチケット

2枚一組 2,500円（一般のみ）

当日券2枚を購入する場合と比べて500円お得！
会期中に2名で1回、または1名で2回ご利用いただけます。
5月13日（日）までの限定販売です。
チケット販売所：ローソンチケット（Lコード：54243）、セブン-イレブン、チケットぴあ（Pコード：763-289）



交通案内／近鉄奈良駅下車徒歩約15分、JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス（外回り）「水室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50（奈良公園内）
ハローダイヤル：050-5542-8600
奈良国立博物館ホームページ <http://www.narahaku.go.jp/>



織物や刺繍で仏の姿や浄土を表した作品があることをご存知ですか？

平面に表された仏の像といえ、多くの方は絵画を思い浮かべると思います。しかし、織物や刺繍による「糸のみほとけ」は長い歴史があり、多くの名品が生み出されました。とりわけ古代では糸のみほとけは本尊クラスでもありました。その隆盛のさまでは天寿国繡帳（国宝、中宮寺）や綴織當麻曼荼羅（国宝、當麻寺）、刺繍釈迦如来説法図（国宝、奈良国立博物館）などから伝わってきます。中世以降、糸のみほとけは故人を偲んで作られることが多く、故人のものらしい髪を繡い込んだものも見られます。この展覧会は綴織當麻曼荼羅の修理完成を記念し、国宝に指定されている糸のみほとけ三点が勢揃いするほか、飛鳥時代から江戸時代にかけての刺繍を一堂に展示します。中国・唐代の繡仏を代表する刺繍靈鷲山釈迦如来説法図（大英博物館）が初めて日本で公開されるのも注目です。

シルクロードの至宝 本邦初公開

英国の探検家・スタインが収集した中国・敦煌発見の繡仏、使われている技法といい、大きさといい、刺繍釈迦如来説法図（奈良国立博物館）と比較される名品。今回この二点が初めて対面します。



© The Trustees of the British Museum



刺繍阿彌陀三尊像（阿彌陀尊、観世音菩薩、文殊菩薩）の複製品。奈良中宮寺蔵。

髪を繡い込む

阿彌陀三尊が往生者（臨終の阿彌陀信仰者）を迎える場面は、わが国の繡仏で数多く作られた題材です。往生者には、多くの作例において女性が表されています。この作品では菩薩の髪などに人の髪の毛が繡い込まれています。ここに表された往生者の髪でしょうか。

祈りで紡ぐ珠玉の名宝、百花のごとく集結！



国宝 天寿国繡帳 奈良中宮寺蔵

聖徳太子への祈りを紡ぐ 日本最古の繡仏

聖徳太子が往生した世界を見たいと願った妃が発願しました。1400年後の今も色鮮やかな糸からは、古代の技術の高さがうかがえます。



国宝 刺繍釈迦如来説法図 奈良国立博物館蔵



古代刺繍の完成美

奈良時代には繡仏の大幅が作られ堂宇の本尊としてもまつられました。縦二メートル超えるこの繡仏はそれを伝える唯一の作品です。



重文 刺繍阿彌陀三尊像（阿彌陀尊、観世音菩薩、文殊菩薩）の複製品。石川西念寺蔵。

端正な刺繍の美

平安時代の仏画を見るかのような美麗な繡仏。美しい色調や繊細な彩（グラデーション）を表す繡技がみどころです。



重文 刺繍九条製陀羅尼屏風（部分）の複製品。京都知恩院蔵。

多彩かつ緻密 中国の技法

さまざまなモチーフがちりばめられた袈裟。文様構成や技法からは、日本とは異なる中国の刺繍技術の高さがうかがえます。

再現！ 當麻曼荼羅

綴織當麻曼荼羅（部分）の復元模造に川島織物セルコンの匠が挑みます。再現された製作当初の美しい姿をご覧ください。



重文 刺繍阿彌陀三尊像（阿彌陀尊、観世音菩薩、文殊菩薩）の複製品。徳川美術館蔵。

© 徳川美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

表装まで刺繍した「総繡」

繡仏は表装まで刺繍で表されることが一般的ですが、多くは後世の修理により新たな表装が加えられています。この品は表装までオリジナルです。細部まで刺繍を用いた祈りの深さが伝わってきます。

天寿国繡帳の繡い方を体験しよう

刺繍工芸家・樹田紅陽氏の指導のもと、本格的な日本刺繍を体験していただく大人向けのワークショップです。出来上がった刺繍作品はお持ち帰りいただけます。

【日時】8月5日（日）13時～16時
【場所】当館会議室 【講師】樹田紅陽氏（刺繍工芸家）
【対象】15歳以上 【参加費】1,000円 【ご用意いただくもの】糸切バサミ
【参加方法】当館ホームページからお申込みください。
※申込方法等の詳細は当館ホームページに掲載いたします。 ※参加費に観覧料金は含まれません。特別展をご覧になる場合は、別途観覧券をお買い求めください。

オリジナル手芸作品 展示コーナー

当展覧会の開催を記念して、一般の皆様から手芸作品を募集いたします。来館者による人気投票がごさいます。

【募集期間】6月11日（月）～7月6日（金）
【展示場所】当館地下回廊
【応募方法】当館ホームページよりご確認ください。

イベント

綴織実演

綴織の作品がどのようにして織られたか、実演しながら分かりやすく解説いたします。
【日時】7月22日（日）10時～16時 ※途中休憩をはさみます。
【場所】当館特別展会場 【実演・解説】川島織物セルコン
※当日特別展に入館いただいた方はとんでも見学いただけます。

親子向けワークショップ 織ってみよう！糸のみほとけ

キットを使って簡単な手織りを体験しながら、展示されている綴織などについて学ぶ親子向けワークショップです。出来上がった手織り作品はお持ち帰りいただけます。
【日時】7月29日（日）①10時～12時 ②13時30分～15時30分
※当日は子ども無料日のため、中学生以下は入館無料
【場所】当館地下回廊 【講師】奈良教育大学 大学院生
【対象】小・中学生とその保護者 ※申込方法等の詳細は、当館ホームページに掲載いたします。
【参加費】無料（ただし、同伴の保護者については、観覧券、又はその半券、奈良博プレミアムカード等のご提示が必要です。）

7月28日（土）と29日（日）は子ども無料日！

小・中学生は無料、同伴の保護者は団体料金で観覧いただけます。



色見本の製作川島織物セルコン

※会期中展示替がございます。